

昭和十年八月調

古墳調査臺帳

多野
市郡
上野
村町

古墳調査票

多野郡 野町村

番 號	名 稱	所 在 地	地 目 地 積	所 有 者	型 式	大 サ	現 狀	發 掘 ノ 有 無	出 土 品	由 來 徵 證	管 理 ノ 有 無	參 考 事 項
壹 號	諸城ノ塚	上野村大字乙母字諸城四五	四五・山林四畝十二歩		前方後円型 隕止ヤレ	墳丘全長二百三十四尺 前方幅高五十一尺 後方幅高五十一尺 山林ニシテ後方部ノ頂ニ粟ノ老木アリ 地ハ雜木ニ散ハル	発掘セズ		古来上毛五塚ノツト此ノ地方ニハ言ヒ傳フ	此ノ有者ハ傳説ヲ重シク火也ニ		或ハ此等ノ岡塚ノ墳ニシテカガ地方ニ江田水ヲ名取ル者アリ地名ニ野東・野東澤 竹等アリ又此等ノ墳ニ上ニ上ノ宮(上野宮)ヲテリル之等何等ノ文獻中ニ故澤測ニ過キ ナルニ後卷ノ之調査スル時ノ参考トシテ記ス猶又古墳ハ道ニハ益菅申及中ノ觀五等 ノ名碑石像等樹立セリ。 標尺ヲオモセト云ヒテ地ノ上ノ宮ト云ヒ何等ノ岡塚ナルカ

擔當調査員 上野村小學校校長
藤田氏名印 八五 井 了男

古墳調査票

多野郡 上野

壹號

諸城ノ塚

上野村大字乙母字諸城 三六

三六、山林ニ反四畝二十八歩

番號	名稱	所在地	地目地積	所有者
壹號	諸城ノ塚	上野村大字乙母字諸城 三六	三六、山林ニ反四畝二十八歩	

前方後円型 隄趾ナシ (山上利用)

墳丘ノ全長 五十一尺 二百三十尺

前方部高 一五尺

山林ニシテ 後方部ノ頂ニ雲ノ老木アリ、他ハ雜木 松楠等ニテ蔽ハル

發掘セバ

ナシ

古來上毛五家ノ一ツト云ヒ傳ヘラル

所有者今カケハ先祖ノ墳トシテ保存管理ス

後醍醐天皇ノ皇子宗長親王(信濃)又ハ上野親憲信濃ヲ上野ヲ
 控テ鎌倉ニ出テトシテ信濃ノ御所アリ發シ踏幸跡ヲ能テ上野ノ
 砦平田ヲ過シテ其後河跡不審明ナリ上州ニ入城近ハ宗尚者
 アリカニモ其後鎌倉方面ニ出テ是れ其跡ト云フ云々山中ニ
 エラナシ之ヲ傳ヘラト 其等關係ナキヤ

參考事項
 管理ノ有無

檀當調査員
 職氏名印
 村寺曾根春
 氏

古墳調査票

多野 郡
上野 村

番 號	名 稱	所 在 地	地 目 地 積	所 有 者	型 式	大 小	現 狀	發 掘 ノ 有 無	出 土 品	由 來 徵 證	管 理 ノ 有 無	參 考 事 項
云号	峠の塚	上野村大字乙母字峠五一	五一山林、二畝四歩		(円型) 隆趾ナシ 山ヲ利用シテ造ル	墳丘ノ全長 三十三尺 高ヤ 十八尺	頂上ニ腐ラズ大木アリ、前方墳丘、左柳ノ位置置ノ上ノ宮ト稱ス小社アリ、祭神不明也、執事様ヲシテ柳ノ下ノ思ハ、元ノ新表ハレテアリ、旧塚ノ頂ハ全部河原石ニテ敷ル、新表ニ於テ是ノ墓ノ形ハ、 表掘セズト土也、元ノハ云ハキ、石柳ノ表ハ、思合ヨリ、築キタル時ハ、 大ク発掘サレタルニ思ハ	ナシ	今昔即ち金平三國志モノナラト云ヒ傳ヘルモ、後世ニ於テ付加シタルモノナラン。	今昔即ち先解リモノトシテ大切ニ保護シテ、上ノ宮ハ、現在小祠アリキ、本末ハ、勝山村勝村神社併合セルモノナリ。		位置ヨリテカ多野村ニ屬スルナラン。

擔當調査員
職氏名印



古墳調査票

多野郡 上野町 町村

式 號

峠・塚

上野村大字乙母字峠五一

番 號

所 在 地

五一山林 二畝四歩

地 目 地 積



所 有 者

型 式

円形 院址ナシ

大 小

墳丘ノ全長 三十三尺
高 十八尺

現 状

頂上ニ石ナリ老木ナリ前方墳丘石柵ノ位置ト思ハルニ是ニ
上ノ宮ト稱ス小祠アリ 小祠ノ後ニ石柵ト思ハルニ表ハレテアリ
円形ノ頂ニ近クテ上ノ頂上 附近ハ全形跡層不ニテ
龍木繁茂シ庭園用器アリ 散掘セズ

發 掘 ノ 有 無

ナシ

出 土 品

由 來 徵 證

今月初葉等ニ関スルモノカナドト云フモノモアレ考不明ナリ

管 理 ノ 有 無

今村家ニ於テ先祖ノ權トシテ保存管理ス

參 考 事 項

位置ヨリシテ亦一モ古墳ニ關係アリラン

擔當調査員 上野某也子 檢本
職氏名印 左 村 南